

マレーシア拠点で大規模太陽光発電設備を稼働

CO₂排出量を年間約 6,900 トン削減

日本電気硝子株式会社（本社：滋賀県大津市、社長：岸本暁、以下 NEG）は、子会社である Nippon Electric Glass (Malaysia) Sdn. Bhd.（所在地：マレーシア セランゴール州、社長：濱島 健、以下 NEGM）の建屋屋上に太陽光発電設備を設置し、2026年3月17日より稼働を開始しました。

本設備は、NEGM にとって初の太陽光発電設備で、最大出力は約 7.6MWp[※]です。年間発電量は NEGM が使用する電力の数%に相当し、CO₂排出量を年間約 6,900 トン削減できる見込みです。

※ MWp(メガワットピーク)：ワットピークは、出力が変動する発電方法における定格出力の指標です。一定の標準条件下において、その設備が理論上発揮できる最大出力を示します。



太陽光発電設備の稼働を記念して行われたセレモニー

■ 導入の背景と今後の取り組み

NEG グループは、2050 年までのカーボンニュートラル達成を目標に、国内外の拠点 CO₂排出量の削減に取り組んでいます。NEGM では、2024 年 7 月に VPPA（仮想電力購入契約）を締結していますが、今回の屋上太陽光発電設備の導入は、その取り組みをさらに進めるものです。NEG グループは今後も、再生可能エネルギーの活用を推進してまいります。

【関連プレスリリース】

[マレーシアで太陽光発電による VPPA（仮想電力購入契約）を締結](#)（2024年7月25日）

■太陽光発電設備の概要

- ・ 設置場所：Nippon Electric Glass (Malaysia) Sdn. Bhd.
- ・ 最大出力：7.6MWp
- ・ 年間 CO₂排出削減量予測：約 6,900t-CO₂
- ・ 発電開始：2026年3月

【会社概要】

日本電気硝子株式会社は、滋賀県大津市に本社を置く、世界トップクラスの特種ガラスメーカーです。新たな機能を生み出す特殊ガラスは、板や管、糸、粉末などさまざまな製品に姿を変え、半導体やディスプレイ、自動車、電子機器、医療、エネルギーなど多岐にわたる分野で活躍しています。当社が70年以上の歴史の中で磨き上げてきた技術と実績により開発された特殊ガラスは、暮らしのあたりまえから産業の最先端まで、幅広い分野で高い評価を受けています。

会社名 : 日本電気硝子株式会社
代表者 : 社長 岸本 暁
本社所在地 : 滋賀県大津市晴嵐二丁目7番1号
創立 : 1949年12月1日
事業内容 : 特殊ガラス製品の製造・販売およびガラス製造機械の製作・販売
URL : <https://www.neg.co.jp/>

Nippon Electric Glass (Malaysia) Sdn. Bhd.は、1991年に設立された日本電気硝子株式会社の100%出資によるグループ会社です。マレーシア・セランゴール州に拠点を構え、ガラスファイバを主力製品として生産するとともに、医療用管ガラスにおいてもグループの主要な生産拠点としての役割を担っています。

以 上

日本電気硝子株式会社 〒520-8639 滋賀県大津市晴嵐二丁目7番1号

《リリース内容に関するお問い合わせ》

コーポレートコミュニケーション部 広報担当 電話：077-537-1702（ダイヤルイン）